

大阪府立大学大学院 看護学研究科  
2012年度 修士論文・課題研究・博士論文発表会プログラム

2013年3月13日(水) 第1日目 於:羽曳野キャンパス L204 階段教室

9:00~ 受付開始

9:30~ 開会の辞 高見沢恵美子 看護学研究科長

※ 発表12分・質疑応答5分(1人17分)

【発表者が発表後の休憩時に交際室にて待機しておりますので、ご質問やご意見などがある場合、どうぞご利用下さい】

**第1群 家族支援看護学領域 9:40~10:48**

座長:北別府 孝輔・辻本 雄大(急性看護学)

M-1	看護師がとらえる検査・処置を受ける幼児後期の子どもの“がんばる”姿	小児看護学	小幡 善美
M-2	ターミナル期の小児がんの子どもの親への関わりに対する看護師の困難感と困難感への対応	小児看護学	志野 友香
M-3	虐待を受けた子どもをケアするなかで病棟看護師が抱く感情とそのコントロール	小児看護学	川口 めぐみ
M-4	妊婦の飲料水摂取の知識と行動に関する研究	母性看護学	大東 千晃

10:48~11:00 休憩(12分)

**第2群 家族支援看護学領域・療養支援看護学領域 11:00~12:08**

座長:光安 早織・唐澤 里子(地域看護学)

M-5	NICUにおける親子関係形成の支援に関する熟練看護師の臨床判断	家族看護学	田和 なつ美
M-6	家族間における延命治療についての話し合いに影響する要因 —大学生の意識に焦点をあてて—	家族看護学	藤原 真弓
M-7	血液透析患者の食事療法に関するストレス・コーピングと自己管理行動との関連	慢性看護学	中村 雅美
M-8	慢性閉塞性肺疾患患者における嚥下障害のリスクと影響要因の検討	慢性看護学	西尾 依見子

12:08~13:00 昼休憩(52分)

**第3群 療養支援看護学領域・生活支援看護学領域 13:00~14:08**

座長:大東 千晃(母性看護学)・岡島 規子(看護教育学)

M-9	積極的治療が困難になったがん患者の家族の思い	がん看護学	後藤 佐知子
M-10	化学放射線療法を受けているがん患者のレジリエンス	がん看護学	中村 由美
M-11	終末期がん患者の疼痛マネジメントを行う際に訪問看護師が感じる困難と取り組み	がん看護学	森井 淳子
M-12	急性期病院の退院調整看護師が感じている高齢者の退院支援における困難	老年看護学	原田 かおる

14:08~14:20 休憩(12分)

**第4群 療養支援看護学領域 14:20~15:11**

座長:田和 なつ美・藤原 真弓(家族看護学)

M-13	クリティカルケア領域における代理意思決定に対して専門看護師が行う倫理調整	急性看護学	北別府 孝輔
M-14	小児集中治療室における乳幼児の至適鎮痛鎮静深度の判断に関する看護師の アセスメントと至適鎮痛鎮静深度の維持に向けた実践内容	急性看護学	辻尾 有利子
M-15	クリティカルケア領域の終末期ケアに対して看護師が認識する困難の内容と その対処および必要とする支援	急性看護学	辻本 雄大

15:11~15:20 休憩(9分)

**第5群 生活支援看護学領域・人・環境支援看護学領域 15:20~16:28**

座長:原田かおる(老年看護学)・後藤佐知子(がん看護学)

M-16	否定的感情を抱いた患者に対する精神科看護師の援助体験	精神看護学	浮舟 裕介
M-17	精神科病棟に異動になった看護師の困難	精神看護学	六田 良彦
M-18	病院の合併・再編成等における看護師長による病棟の組織化	看護管理学	池亀 みどり
M-19	民間中小病院の人的資源管理における看護管理者のリテンション・マネジメント	看護管理学	稲垣 伊津穂

16:28~ 1日目終了の挨拶

**2013年3月14日(木) 第2日目 於:羽曳野キャンパス L204 階段教室**

9:00～ 受付開始

※ 修士・・・発表12分・質疑応答 5分(1人17分)

※ 博士・・・発表20分・質疑応答10分(1人30分)

【発表者が発表後の休憩時に交見室にて待機しておりますので、ご質問やご意見などがある場合、どうぞご利用下さい】

**第6群 人・環境支援看護学領域 9:30～10:38**

座長:川口 めぐみ・小幡 善美(小児看護学)

M-20	ナノミストシャワーを用いた洗髪の洗浄効果	看護技術学	横山 友子
M-21	基礎看護学実習における看護学生のアーティファクトに対する状況的認知	看護教育学	岡島 規子
M-22	看護系大学生における日本語版 Peer Group Caring Interaction Scale の作成およびケアリング相互作用と日常生活経験との関連	看護教育学	梶 喜子
M-23	救急領域に勤務する新人期看護師の技能習得に影響を及ぼす経験—実践共同体における相互作用に焦点をあてて—	看護教育学	鈴木 亜衣美

10:38～10:50 休憩(12分)

**第7群 生活支援看護学領域 10:50～11:58**

座長:池亀 みどり・稲垣 伊津穂(看護管理学)

M-24	妊娠中および授乳期の女性の飲酒行動の実態とその関連要因	地域看護学	今城 治世子
M-25	出産前後の母親の育児の実態と父親のサポートとの関連	地域看護学	唐澤 里子
M-26	カンボジアにおける抗 HIV 薬療法を受けている女性の家族計画行動とその関連要因	地域看護学	中家 奈緒美
M-27	ネグレクト事例に関わる保健師が関係機関との連携に用いた技術	地域看護学	光安 早織

11:58～13:00 昼休憩(52分)

**第8群 生活支援看護学領域 13:00～14:30**

座長:中西伸子(母子健康看護学)・大田直実(がん療養看護学)

D-1	三世同居家族の祖母の子育て支援を促進する教育プログラムの開発と評価	母子健康	三澤 寿美
D-2	潜在看護師のための復職準備教育プログラムの構築	看護管理・教育学	神戸 美輪子
D-3	救急領域の新人看護師のストレス反応に影響を与える教育的支援および関連要因の検討	看護管理・教育学	中山 由美

14:30～14:40 休憩(10分)

**第9群 療養支援看護学領域 14:40～15:40**

座長:野島敬祐(急性療養看護学)・毛利貴子(慢性療養看護学)

D-4	再発告知を受けた乳がん患者の心身の安定を図り満足した生活をもたらす看護介入プログラムの開発と評価	がん療養看護学	大田 直実
D-5	慢性閉塞性肺疾患患者の呼吸困難のセルフマネジメント評価尺度の開発	慢性療養看護学	今戸 美奈子

15:40～ 閉会の辞 上野昌江 看護学副研究科長